

水と緑と太陽の里「宜野座村」

広報



おひさ

平成31年
(2019年)

4月号

No.547

公式LINEで情報発
信中♪宜野座村と
友だちになろう！



今月の主な内容

- 宜野村長施政方針.....P.2～P.12
- 人事一覧など.....P.13
- 行政組織図.....P.14～15
- 世界のキッズサチと交流事業.....P.16
- 村の話題.....P.17～19
- 村長動向など.....P.20
- お知らせ.....P.21～22
- きのさ暦.....P.23
- 宜中同窓生野球大会などについて.....P.24

楽しいひなまつり (松田保育園)

人口のうごき

平成31年3月末現在

総人口	6,074人 (-3)
男	3,067人 (+4)
女	3,007人 (-7)
世帯数	2,492世帯 (+8)

(各区別人口) 松田 1,596人 (-11)

宜野座 1,218人 (+7)

総 福 山 1,500人 (+7)

転出59人 津 瀬 那 1,196人 (+3)

出生 6人 城 原 292人 (-3)

死亡 6人

※ () 内は前月比 ※ 外国人を含む
※ 惣慶区は、ていこ園 (70) を含む

平成31年度 宜野座村施政方針

村民一人ひとりが幸せを実感できる村の実現へ向けて

當眞淳村長は、第一回三月定例会で、平成31年度の村政運営の基本となる施政方針演説を行い、これまで同様「住民の目線」を基本スタンスとして村政運営に取り組んでいくことを表明しました。

平成31年度の当初予算は74億2千万円、前年比9.4パーセントの増となっています。

當眞村長の施政方針全文を掲載します。（※太字は今年度の新たな取り組みです）

1. はじめに

本日、平成31年第2回宜野座村議会定例会の開会にあたり、議員各位の御健勝を心からお慶び申し上げますとともに、日々のご精励、ご活躍に対し深く敬意を表するものであります。

それでは、提案しております、平成31年度予算をはじめ、諸議案の説明に先立ち、村政運営に関する私の所信の一端と基本的な方針について申し上げます。議員各位並びに村民の皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

さて、昨年度は、ソフト面で、子育て支援として、第3子以降の園児児童生徒の学校給食費の免除や待機児童及び放課後児童対策等の事業を実施してまいりました。また、ハワイ宜野座村人会70周年記念の年にあたり、記念式典や文化芸能公演を現地に、開催するなど文化振興並びに国際交流事業の充実に、取り組んでまいりました。

ハード面では、沖縄振興特別推進市町村交付金

事業を活用した観光拠点施設等が完成し、リニューアルされた道の駅「ぎのざ」に県内外、国外からも多数の来場者があり、本村に新たな賑わいの場が誕生いたしました。また、北部連携事業を活用し、宜野座多目的スポーツ施設が今年1月に完成、更に漢那旧国道線道路改築事業に着手しております。

その他、再編交付金事業を活用し、村IT産業等集積拠点施設無停電電源システム更新事業を実施するなど、観光及び情報通信産業の振興や健康増進に資する事業に、鋭意取り組んで来たところでございます。更に、これまで誘致に取り組んできました、県立農業大学の移転先が、昨年8月、本村に決定いたしました。同校の移転につきましては、本村農業の更なる発展に大きく寄与するものだと考えておりますので、2024年の開校に向けて、事業主体の県や地域と連携、協力を図ってまいりたいと思っております。

一方、米軍基地問題や赤土流出問題など、大変厳しい行政課題も抱えている状況ではありますが、

私が、村長就任時から掲げております「子どもたちの瞳が輝き、村民の笑顔あふれる村づくり」を基軸に「住民の目線」を大事にし「水と緑と太陽の里・宜野座村」の更なる発展のために、最大限の努力を尽くす所存でございます。

2. 平成31年度予算概要について

平成31年度予算編成においては、沖縄振興特別推進市町村交付金が県全体で減額されるなど、地方財政は厳しさを増すことが予想されます。このような現状を認識し、限られた財源で、最大の事業効果を上げるよう事業の必要性、効率性等を念頭に置き、効果的な事業実施に努めてまいります。予算額につきましては、一般会計予算で74億2千万円、昨年度に比べ9.4パーセントの増となっております。

また、特別会計予算は、国民健康保険事業特別会計

十億百九十八万七千円



後期高齢者医療特別会計

五千八百三十八万八千円

下水道事業特別会計

九千二百七十一万八千円

水道事業会計は、

収益的収入及び支出

収入

二億五千六百一十三万三千円

支出

二億二千九百三十三万四千円

資本的収入及び支出

収入

二億三百九十三万二千元

支出

二億六千三百二十九万六千円

となっております。

歳入の面では、主なものとして、自主財源の柱であります村税が6億円、地方交付税が13億7百万円、財産収入が23億3千2百万円であります。

一方、歳出の方では、主な事業として沖縄振興特別推進市町村交付金事業による村着地型観光誘客推進事業、再編交付金基金事業による、**宜野座村ふれあい交流センター建設の設計並びに村営学習塾の運営事業**、特定防衛施設周辺整備調整交付金事業による村道待口線他整備工事、**北部振興事業による漢那旧国道線道路改築事業**などがあります。

諸事業の実施につきましては、各種補助事業等を有効的に活用し、村民にとって有益となる事業を選択して取り組んでまいります。

また、本村が支出する経常的な経費や施設などの維持管理費、各種補助金等は、随時見直しを進めることとし、無駄のない行政運営、財政健全化に努めてまいります。

3. 子ども達の笑顔が あふれる村づくり

子ども・子育て

支援新制度への対応については、第1期村子ども・子育て事業計画が平成31年度で終了することから第2期事業計画策定に向け、子ども・子育て会議を開催し、本村の現状と課題を踏まえ、2020年から5年間の計画を策定します。

また、今年度より児童福祉係職員を1名増員し、公立認定こども園の設置にむけた調査検討や待機児童対策を強化していきます。

待機児童の解消については、松田保育園の分園となる**光保育園**が開園、**かなな保育園**では100名から120名への定員増をおこない、待機児童が発生しやすい0歳〜2歳児の受け入れを拡充します。

また、保育士確保対策として、昨年度に引き続き、就職準備金の貸し付けを実施していきます。



イチゴ狩り体験

児童生徒の放課後活動支援については、引き続き、地域のニーズにあった放課後児童クラブ運営を推進するため、支援員に対する資質向上を目的とした研修や保護者などへの相談事業を実施し、放課後児童健全育成補助事業の充実を図っていきます。

子どもの貧困対策については、昨年度に引き続き、国の「子どもの貧困緊急対策事業」を実施し、貧困対策支援員の配置や、子どもの居場所づくりの運営を支援していきます。

また、保護者への経済支援については、児童生徒への学用品費、給食費等の就学援助支援を継続して実施していきます。

子どもの虐待防止対策については、引き続き、国の「児童虐待・DV対策等総合支援事業」を活用し、相談員を配置するとともに、要保護児童対策地域協議会の構成機関及び児童相談所との連携を図り、子どもの安全を最優先に虐待の予防と早期発見、早期対応に努めます。



こちゃスマイルクラブ

母子保健事業については、子ども医療における未就学児の医療機関窓口での自己負担無料化（現物給付）及び母子父子医療助成制度の自動償還方式を、昨年度に引き続き、実施していきます。

また、不妊で悩む夫婦に対する支援として、特定不妊治療並びに一般不妊治療に要する費用の一部助成を、引き続き、実施していきます。これからも、安心して子どもを生み育てやすい環境づくりに努めます。



1歳6カ月健診、3歳児健診

教育に対する意識の啓発については、村民の関心と理解を一層深めるとともに、家庭、学校及び地域社会の連携の下に、村民全体で本村の教育の充実及び発展を図るため、「**宜野座村教育の日**」を定め、教育に関する取組を推進していきます。

村立幼稚園における預かり保育については、引き続き、午後6時30分までとすることにより、共働きやひとり親世帯の子育て支援の充実を図っていきます。

義務教育の充実については、各小中学校の実態

に応じ、学習支援員を配置し、教師と連携を取りながら指導体制や指導方法の改善充実を図り、確かな学力の定着と向上を目指していきます。

特別支援教育の充実については、臨床心理士を派遣し、幼児児童生徒の観察や心理検査等を基に、面談や相談活動を行うことにより、幼児・児童生徒・保護者・教職員を支援していきます。また、子ども達の困り感に合わせて、引き続き、特別支援サポーターを配置していきます。

体育施設の整備については、沖縄北部連携促進特別振興事業を活用して宜野座多目的スポーツ施設が完成しました。同施設の機能を十分に発揮すべくスポーツ合宿誘致や幅広い年齢層の健康の保持・増進に取り組んでいきます。

村営学習塾「21世紀みらい」については、国公立大学の合格者が年々増加し、成果が上がりつつあります。それに伴い入塾希望者も増加傾向にあることから、**今年度は中学生の全学年を2クラス設置し、受け入れ生徒数の増を図り、更なる学力向上並びに運営の効率化と指導力の向上を目指します。**

村ジュニア海外語学研修派遣事業につ



村ジュニア海外語学研修派遣事業

いては、昨年度に引き続き、米国ハワイ州にて実施し、国際化社会に対応できる人材育成を図るため、現地大学での語学研修やハワイ宜野座村人会との交流の充実を図っていきます。

青少年のスポーツについては、昨年度は第38回新報児童オリンピック陸上競技大会で、「**宜野座陸上クラブ**」が3連覇を達成するなど、各種競技において子ども達の活躍は目覚ましいものがあります。

また、今年度

も引き続き、阪神球団のご厚意により、少年野球ドリーム大会を制覇したチームを、甲子園球場に招待する事業を実施することになっています。これからも、関係団体と連携しながら各種スポーツ大会の実施や活動支援を行ないながら、子ども達の可能性を引き出し、伸ばしていきたいと思えます。

地域社会による人材育成については、豊かな心を持ち、夢、実行力のある青少年を育成するため、学校、家庭、地域との連携を図り、社会奉仕活動や自然体験活動等に取り組んでいきます。



宜野座陸上クラブ
新報児童オリンピック陸上競技大会3連覇

人材育成事業

業（キャリア教育等）については、沖縄県の地域型就業意識向上支援事業を活用して実施しています。昨年度に引き続き、産学官が連携し協議会の運営や、これまで行ってきた事業の定着を図り、効果を検証していきます。



人材育成事業（名桜大）

4. 村民が心身ともに健康で元氣な村づくり

健康づくりの推進については、引き続き、各種健診及びがん検診の無料化、各種健康教室の開催、小学5年生、中学2年生を対象とした生活習慣病予防健診「子ども健診」の実施、指定医療機関での禁煙治療を受診した際の医療費の一部を助成する「禁煙治療費助成事業」の周知に取り組んでいきます。

また、今年度より、健康推進班に保健師を追加配置することで、組織体制の強化を図り、一生涯、生き生きと暮らせる村を目指し、健康づくりに取り組んでいきます。

予防接種事業については、本村が独自で取り組んでいる1歳以上65歳未満を対象としたインフルエンザ予防接種並びに65歳以上の高齢者肺炎球菌ワクチン、更に乳幼児を対象とした各種任意接種の費用の一部助成を拡充し、実施していきます。

高齢者福祉については、引き続き、村高齢者保健福祉計画（宜野座村くがにプラン）に基づき、高齢者の皆様が住み慣れた地域で、健康で生きがいをもつて安心して暮らせるように、世代を問わず互いに協力し、支え合う体制をつくり、笑顔あふれる村づくりの実現に向け、諸施策を展開していきます。



村老人クラブ運動会

介護保険については、昨年度に引き続き、一般介護予防事業（ぬちぐすい処等）を各区で毎週行い、新たに週1回、前期高齢者の運動習慣、運動機能強化を目的とした、セラバンド教室を実施します。

更に介護予防対象者にあつた強度の異なる教室を毎週行い、介護予防を図ります。また、生活支

援コーディネートと地域の連携により、要支援者の受け皿や地域における支え合いの体制づくりに、取り組んでいきます。

認知症対策については、昨年度に引き続き、

認知症初期支援集中チームを金武町・恩納村と合同で医療機関に委託し、認知症地域支援推進員を中心に医療機関と地域との連携、家族の支援など、認知症を取り巻くあらゆる課題の解決に向け、取り組んでいきます。

障がい者福祉については、長期入院・入所している障がい者の地域移行・地域定着について、関係機関との連携体制整備について取り組んでいきます。また、障がい児及び発達が気になる子について、福祉と教育が連携できるような体制づくりに取り組むとともに、更なる相談支援体制の強化を図り、障がい者等の支援の充実を図っていきます。

国民健康保険事業については、平成30年4月から沖縄県が国民健康保険の財政運営の事業主体となりました。本村では、引き続き、保険者努力支援制度の各種項目である保険料収納率、適正賦課、



ぬちぐすい処

特定健診受診率、後発医薬品使用割合などの、更なる向上に向け取り組んでいきます。

また、地域と連携し糖尿病など生活習慣病の重症化予防に取り組むことで医療費の適正化を図り、国保財政基盤の安定強化に努めます。特に特定健診受診率向上への取り組みでは、村商工会のプレミアム商品券事業と連携し、村民の健康づくりや病気等の予防に対する意識の向上を図るため、昨年度に引き続き、個人へのインセンティブを拡充していきます。

後期高齢者医療については、引き続き、運営主体の沖縄県後期高齢者医療広域連合と連携して業務をおこない、保険料に関する納付相談などをはじめ、制度の円滑な運用に努めていきます。

国民年金については、引き続き、老後や万一の病気やけがの時、生活の支えとなることから、無年金者を出さないよう窓口相談や広報活動で免除申請や障害年金、遺族年金制度の周知を、図っていきます。

生涯学習については、引き続



公民館講座（盆栽教室）

き、村内各種社会教育団体や住民を対象とした公民館講座や村民自主講座の充実を図るとともにサークル活動を推進し、村民が充実した生活が送れるよう努めていきます。

地域の歴史や文化の継承については、文化財を保護しつつ、博物館講座や企画展などを実施するとともに、博物館情報を活用して普及啓蒙に努めていきます。

昨年度に引き続き、「宜野座の八月あしび」の調査成果を基に国の無形民俗文化財の指定に向け、関係機関へ要請していきます。

また、平成26年度から始まった姉妹町である、愛媛県内子町との文化交流事業については、今年度は内子町伝統芸能団を迎える予定となつていますが、この伝統芸能継承団体による相互訪問と伝統芸能披露の取組を通して、更なる伝統芸能の継承発展につなげていきます。

文化振興については、がらんホールを中心に、音楽・演劇などの文化芸術を通して、村民の豊かな感性を育み、地域に存する芸能や芝居・音楽サークルなどの発表の機会を設け、県内外へ発信するとともに、村文化協会や村文化のまちづくり事業実行委員会など各種団体と連携して文化振興を目指していきます。



内子町伝統芸能まつり（松田区芸能交流）

また、文化センターホールの機能強化事業として、ホワイエや各控室などの老朽化したモニターやカメラをデジタル仕様に変更することで機能強化を図り、先端的な文化芸術の創造や提供など、高度な舞台演出に対応できるよう整備していきます。

村立図書館については、資料提供をはじめ、施設機能を有効に活用した利用サービスの充実を図るとともに、引き続き、学校や地域との連携を強化していきます。

また、お話し会や図書館講座などの事業を継続して行い、読書を習慣づける環境づくりのため、気軽に利用してもらえるような図書館づくり及び地域のニーズに応える図書館サービスの向上と充実を図っていきます。

国際交流については、引き続き、世界のギノザンチュとの交流事業として子弟研修生受入事業及び青年海外派遣事業を実施



世界のギノザンチュ子弟研修生受入事業

し、世界のギノザンチュと村民との交流の絆を深めつつ、国際感覚を身につけた人材を育成するとともに、次世代間交流を促進していきます。

体育・スポーツ振興については、昨年度、国頭郡球格技大会・国頭郡陸上競技大会でそれぞれ総合2位、第73回国民体育大会（山岳）へ1人が選抜されました。引き続き、競技スポーツを推進するとともに、村民の健康増進と体力の向上を図れるよう、村民が「いつでも、どこでも、だれでも」気軽に楽しめるようスポーツの普及に努めていきます。

5. 産業振興で活気ある村づくり

農業の振興については、今年度より、産業振興課参事が農業委員会事務局長を兼務することで、相互の連携強化に努め、更なる農業振興を図ります。

また、今年度より、これまで整備してきました農業用ハウスの長寿命化対策のため、修繕に必要な資材購入補助制度を導入いたします。

さとうきびについては、増産に向け、引き続き、優良種苗の確保・増殖を推進するとともに、病害虫及び有害鳥獣の被害防止対策、機械化農業の推進と適切栽培の指導及び宜野座堆肥の使用推進による地力増進を図り、農家反収5トン以上の生産を目指します。

パインアップル・マンゴーについては、引き続き

き、営農指導に努め、栽培技術の向上・生産拡大を図り宜野座村農産物加工直売センター「未来ぎのぞ」やJA等と連携を図りながら販路拡大に取り組みしていきます。



さとうきび初荷式

ベビリーフ及びイチゴについては、引き続き、村の戦略品目として、生産者組織の強化を図るとともに、栽培技術の向上や特定地域経営支援対策事業・沖縄振興特別推進市町村交付金等を活用した、ハウス整備事業を実施し、生産農家の支援に努めていきます。

宜野座村特産品加工直売センター「未来ぎのぞ」については、「道の駅「ぎのぞ」のリアルオープン後、多くの来場者があることから、引き続き、売り上げの増進に向けて支援を行っていき



道の駅「ぎのぞ」

ます。

また、昨年、売り場などの改築に向けて調査を行いました。今後は、道の駅エリア全体の計画等を踏まえつつ、内容を精査していきたいと考えております。

「有機の里宜野座村」の推進については、引き続き、営農指導員・コーディネーターによる、低農薬使用農家「エコファーマー」の育成や認定農業者の支援を図り、安全・安心な宜野座産農産物のPRを行い、「未来ぎのぞ」を拠点として、県内外の量販店などへの販路拡大に向けて、取り組んでいきます。

新規就農者の確保や担い手農家の育成については、農業次世代人材投資事業等の活用を図り、施設や機械などの充実を図るとともに、農業後継者等育成センターや農業指導士と連携しながら、新規就農者などへのサポートを行なっていきます。

有害鳥獣対策については、引き続き、宜野座村鳥獣被害防止対策協議会の対策実施隊による銃器及びワナ等を用いての駆除などを行い、農作物の被害防止対策に取り組んでいきます。

畜産の振興については、これまで実施してきた優良繁殖雌牛更新事業の実施により繁殖雌牛の更新が進み、宜野座村和牛の品質向上や肉用牛農家の経営安定に繋がっていると考えております。

今後も、優良和牛精液補助等の各種補助を実施

するとともに、JA等が取り組む畜産クラスター事業、村畜産センターを活用した新規就農者の支援や後継者の育成に取り組んでいきます。

加えて、県立農業大学の移転予定地である「松田真平原地区」草地の代替地確保に向け取り組んでいきます。



村畜産共進会

村堆肥センターについては、引き続き、良質な宜野座堆肥生産に努めるとともに、昨年度導入した堆肥散布車を活用し、村内外への販売促進に努め、経営の安定化に向けて取り組んでいきます。

オガコ施設については、引き続き、需要に応じたオガコの生産に努めるとともに、オガコの利用促進として、畜舎環境の改善などが図られるオガコ畜産を推進していきます。

また、チップ材は赤土対策の敷材・土壌改良材として有効なことから、多面的なチップ材の活用を促していきます。

農地保全整備事業については、今年度より、松田地区団体営農業基盤整備促進事業の工事に着手

します。また、観光客等の散策道として活用されている土地改良沿道の管理として、農村沿道景観向上事業を実施していきます。

赤土等流出対策については、引き続き、漢那中山地区における県営水質保全対策事業をはじめ、団体営事業として漢那垣の外地区における水質保全対策事業を実施していきます。

また、村赤土等流出防止営農対策地域協議会と連携し、営農段階における農業者及び地域住民への、土壌保全等赤土流出防止に対する技術指導、啓蒙活動を展開するとともに、昨年度から実施しております畦設置による対策等も推進していきます。

水産業について

では、漁業者の経営安定と向上に向けて、再編交付金等を活用した漁場づくり事業として、漁礁設置の為に海域調査を実施するとともに、漁船燃料補助等の各種補助金制度の継続支援を行い、漁業振興を図っていきます。



もずく流し（村産業まつり）

また、引き続き、離島漁業再生支援交付金事業を導入し、漁業者の自立に向けて、村漁業協同組

合や各種団体と連携しながら、販路拡大並びに観光漁業の推進等の取り組みを支援していきます。

情報通信産業については、宜野座村ITオペレーターシオンパークにおいて、8社の入居があり、約300名の雇用を生んでいます。空きスペースやIT人材の不足などの要因により、厳しい経営が続いています。

今年度は、新たな取り組みとして「一般社団法人サーバーファーム」の自主事業を推進するとともに、これまで実施している企業誘致事業の更なる充実を図りながら、引き続き、新規企業誘致に取り組んでいきます。

また、昨年度は電源関係設備（UPS）の取り替えをおこないましたが、自家発電機や空調設備等も更新時期も迎えており、再編交付金事業等の補助事業を活用し整備を進めていきます。

商工業の振興について

については、公共工事の地元企業への優先発注や地元産品の活用に取り組んでいきます。

また、小規模事業所の各種支援や昨年度から実施した特産品アイディア応援



水と緑と太陽の里商品券

奨励金事業などの特産品開発、既存商品の販売促進・拡大等に向け、村商工会と連携を強化し、商業の活性化を図っていきます。

更に、村商工会で毎年発行している「水と緑と太陽の里商品券」については、多くの村民が利用しており、引き続き、支援を行うことで村内における地産地消の促進及び消費喚起を図っていきます。

観光産業については、リニューアルオープンした道の駅「ぎのぎ」に、県内外、国外を合わせた約60万人のお客様が訪れる施設となり、本村の観光情報発信の拠点となっていることに加え、



阪神タイガース春季キャンプ

農水産物や特産品の販売促進など、村全体への波及効果が出てきていると考えております。

今後、更なる商工観光業の発展を目指し、村観光協会及び村商工会、関係機関などと連携しながら、阪神タイガース春季キャンプを主体に、関西圏を中心とした戦略的な村内観光情報のPR活動を展開し、本村への誘客効果を高めるよう取り組んでいきます。

また、地域資源を活かした、本村にふさわしい

観光の在り方について、各種観光施設や各区、団体とも協議、連携しながら、更なる観光資源の発掘、観光ツーリズムの発展に取り組んでいきます。

花のむらづくりにについては、「やんばる花と美の風景街道パートナーシップ会議」において、本村の国道（旧国道を含む）が街道ルートに選定されており、今後は北部国道事務所、沖縄コンベンションビュローや関係機関と連携をしながら、地域の魅力向上に努めていきます。

また、各区とも連携しながら、訪れた人が心穏やかなフラワーカーデンを含めた花のむらづくりを推進していきます。

更に、地域の美しい風景を守り・育て・創造する総合的なむらづくりの推進を図ることを目的とする、宜野座村景観むらづくり条例及び施行規則に基づき、景観むらづくり活動団体が行う活動を支援いたします。



フラワーガーデン

漢那ビーチの管理については、今年度の団体補助から民間委託も視野に管理形態を見直し、利用者が安心・安全に利用できる環境づくりに努めな

がら、収入の確保など、活用方法を検討し、更なる活性化に取り組んでいきます。

スポーツツーリズムについて

は、宜野座多目的スポーツ施設の整備が完了し、本村体育施設の機能が強化されたことで、スポーツ合宿地としての魅力が更に向上したと考え



宜野座多目的スポーツ施設（手前）

ます。今年度は、2020年に控える東京オリンピックを前に、村観光協会を窓口として、カヌー日本代表の受入をはじめ、スポーツ団体等関係者や旅行代理店などの招聘ツアーを企画するなど誘致活動を強化していきます。

更に、各種スポーツ合宿の受け入れを強化し、年間を通して体育施設の有効活用と地域経済の活性化について取り組んでいきます。

村まつりについては、今年度も、沖縄振興特別推進市町村交付金を活用した、美ら島花火大会と同時開催し、村民相互の融和と地場産業の発展、育成を図るとともに、宜野座村の魅力を発信していきます。

漢那ダムまつりについては、引き続き、森と湖

に親しむ機会を提供し、人気のカヌーや体験コーナーの充実を図ることで、心身ともにリフレッシュして頂き、森林やダム、河川等の重要性について関心と理解を深められるような体験型イベントとして、開催していきます。

産業まつりについては、引き続き、優良生産者の表彰並びに村内で生産、加工された農水産物を展示即売することで、生産者の生産意欲の高揚を図ることを目的に開催します。集客効果を高めるため村商工会と連携を図っていきます。

雇用対策については、人材サポートセンターへの求人・求職の登録は毎年増加しており、これからも、就職相談・斡旋など、地域のニーズに合わせた多面的な雇用機会の創出、拡充に努め、マッチングを行い、地域雇用の支援を行います。

また、ハローワーク沖縄並びに沖縄県、地域社会、各関係機関との相互連携を進め、新たな雇用の創出と失業者対策に取り組めます。

6. 平和で安全・安心な村づくり

米軍基地問題については、常態化している米軍機による飛行訓練の騒音被害に加え、今年1月には水陸両用車の事故が発生しました。

米軍基地から派生する諸問題については、その都度、関係機関へ要請などを行なっているところですが、日米地位協定などの壁もあり、なかなか改善されない状況が続いています。

私としては、村民の生命、財産を守る立場から、大変歯がゆい思いをしています。今後、しっかりと現状に向き合い、諸問題解決、負担軽減に向けて、ねばり強く取り組んでいきます。

また、普天間飛行場代替施設の辺野古移設問題については、去る、2月24日に「普天間飛行場の代替施設として国が名護市辺野古に計画している米軍基地建設のための埋立て」の賛否を問う県民投票が行われ、全有権者の4分の1以上となる約43万人が埋立て反対に一票を投じました。その結果を踏まえ、玉城知事は日米両政府に県民の意思を伝えることとなっております。

今後、県と国とがどのような協議を行なっていくのか、また日米両政府がどのような対応していくのかは予断を許さない状況であり、私としては、引き続き、その動向を注視していきたいと考えています。

防災については、近年の台風の大型化や大地震等の大規模災害時に備えるため消防や警察など、各関係機関との協力体制を確立し、村民等の避難が迅速かつ円滑に行えるよう取り組むとともに、今年度は、姉妹町の愛媛県内子町と災害時における相互応援に関する協定締結を予定しています。

また、村民の防災意識の高揚を図るため、引き続き、防災教育などの開催及び自主防災組織の育成を推進し、防災・減災へ繋げていきます。現在、稼働中の防災行政無線は、設備の老朽化や部品の供給停止を迎えていることと、使用しているアナログ無線が停波となる見通しであることから、昨

年度は新たな防災システムの導入に向けた、基本構想及び基本設計を策定しました。今年度は実施設計を進めていきます。

交通安全については、引き続き、石川警察署及び関係機関、交通ボランティア、地域住民の協力のもと、交通安全思想の普及、交通事故防止に積極的に取り組んでいきます。

また、関係機関と連携し、変

化する交通環境に対応した生活道路や通学路の見直し、交通安全施設の点検に取り組んでいきます。防犯については、引き続き、地域社会と協働した安全で安心な村づくりの実現のため、石川警察署及び関係機関と連携を図り、青色回転灯装備車両による防犯パトロールを定期的に実施するとともに、危険箇所の点検や青少年の健全育成、暴力団排除活動、チラシ配布、不審者情報提供などによる防犯活動、犯罪を起こしにくい環境づくりに取り組んでいきます。



村交通安全推進協議会総会

7. 安全ぎと潤いのある村づくり

社会資本の整備については、引き続き、漢那旧国道線及び赤平線、福山進入路、村道待口線他の整備を進めていきます。また、橋梁の維持管理・補修・更新を確実に進めるため、長寿命化修繕計画に基づき整備を行い、施設の長寿命化を図り、利用者の安全確保に努めていきます。

今後、地域の要望や懸案事項となっている道路整備、排水施設の整備に取り組むとともに、災害が発生した場合の一時避難場所の整備、危険箇所の改善、災害防止、復旧については、早急な対策をおこなっていきます。

公園の整備については、昨年度、実施設計を終えたキャンプ・ハンセン周辺改修工事（福山区公園）助成事業の工事に着手します。

循環型の村づくりについては、引き続き、ゴミの減量化、資源のリサイクル化に向けてチラシや広報誌などで地域住民への啓蒙普及に取り組んでいきます。



焼却施設等建設工事祈願祭

一般廃棄物の処理については、ゴミ処理施設を金武地区消防衛生組合が事業主体となり、福山区において建設工事を進めており、平成32年度の供用開始に向けて、関係地域の理解を得ながら推進していきます。

廃家電や粗大ゴミなどの不法投棄については、引き続き、環境監視員を動員してパトロールを実施するとともに、立て看板の設置及び広報活動により、取り締まりを強化していきます。

危険生物の駆除については、村内でハブや野犬などが頻繁に目撃されていることから、村民や観光客、修学旅行生等の咬傷事故を防ぐため積極的に捕獲、駆除を行い、引き続き、安全な生活環境の保全に努めていきます。

上水道事業については、継続事業となる福山浄水場改修事業において、今年度は、急速ろ過池の一部改修並びに機械電気設備の改修等を実施いたします。また、老朽化が進んでいる前原橋配水管の布設替工事を実施していきます。更に、今後の経営安定化やリゾート開発等による水需要の予測等を含め、経営戦略を策定するとともに、安全で安心な水の安定的な供給に努めていきます。

下水道事業については、既存施設の適切な維持管理の徹底に努めるとともに、松田地区並びに宜野座地区処理場においては施設の経年老朽化が見られることから、平成32年度の機能強化事業の採

択に向け、引き続き、作業を進め、より一層の生活排水環境の充実を図っていきます。

8. 自立を目指す村づくり

村づくりについては、「第5次宜野座村総合計画（基本構想）」を宜野座村の「むらづくりビジョン」の最上位計画として位置づけおり、基本構想の方針、基本計画の施策に基づいた「宜野座村づくり」に取り組んでいきます。

自主財源の確保については、引き続き、公平の理念のもと、国、県と連携を取りながら滞納処分を実施し、徴収率の向上を目指していきます。

ふるさと納税については、インターネット等を活用した気軽に寄附ができるシステムの活用を図り、村特産品のPRを行うことで、引き続き、寄付額の増並びに返礼品の拡充に努めていきます。



自主財源確保拡大対策委員会

行財政改革については、今年度は、地方公務員法及び地方自治法の一部改正に伴い平成32年度から実施される会計年度任用制度の事務体制を構築するための検討を行います。

また、引き続き、行財政の現状等、情報の発信を行い、村民の理解と協力のもとに、行政サービスの効率化と経費の節減に努め、持続可能な安定した行財政運営に、取り組んでいきます。

電子自治体の取り組みについては、引き続き、平成30年度に包括連携協定を再締結した通信業者と連携し、ICTを活用した、「むらづくり」や行政サービス等の更なる向上に向けた検討をおこなっていきます。

産学官連携については、昨年度締結した、名桜大学並びに琉球大学との「地域雇用創出・若者定着に向けた産学官連携協定」に基づき、引き続き、農業・IT・観光などの分野で連携し、雇用創出・若者定着に向けた取り組みを推進していきます。

9. おわりに

昨年度、私は北部市町村会会長に就任しました。そのことにより、これまで以上に国や県の関係者等とも情報交換をする機会が増え、北部地域全体のことでなければなく、本村の抱える諸課題についても率直な意見交換を行うことが出来ました。

今後も、情報のアンテナを高くしながら、視線は低く、我が村の魅力や課題など「宜野座村」

の現状としつかりと向き合いながら、将来を見据えて、村民一人ひとりが誇りに思える村の実現に向け、職員一丸となって、諸事業に取り組んでまいります。

平成31年度の村政運営にあたり所信の一端を申し述べて参りましたが、今年度も、村民福祉の向上に努め、本村の更なる発展のために身を粉にして努力することをお約束するとともに、議員各位と村民皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。平成31年度の施政方針とさせていただきます。

平成31年3月5日

宜野座村長 當 眞 淳

新区長紹介

4月1日付けで、島袋全永氏が宜野座区長に就任しました。また、新里幸美氏が惣慶区長、金武淳氏が漢那区長に再任されました。



宜野座区長
島袋 全永 氏

金武地区消防衛生組合新消防長に

仲吉 武氏 就任

4月1日付けで『金武地区消防衛生組合消防長』を拝命いたしました。もとより微力ではありますが、住民の皆様の負託に応え、信頼される消防衛生組合を目指し、職員一丸となって努力を重ねて頑張りますのでよろしくお願いいたします。



金武地区消防本部
新消防長
仲吉 武 (漢那区出身)

平成31年度金武地区消防本部人事

消防本部予防課長

前泊万寿夫 (旧消防本部総務課長補佐)

金武消防署長

山内 明政 (旧金武消防署長補佐)

衛生課参事

石山 学 (宜野座村役場から出向)

宜野座分遣所長

金盛 淳 (旧宜野座分遣所警防係長)

恩納分遣所長

宜野座義光 (旧恩納分遣所警防係長)



新教育委員
佐久川 明 氏

4月1日付けで、佐久川明氏が
教育委員に任命されました。

新教育委員紹介



新教育指導主事
岸本 五穂子 氏

4月1日付けで、岸本五穂子氏
が教育指導主事に就任しました。

新教育指導主事紹介

平成31年度 宜野座村人事一覧表 (平成31年4月1日付)

異動・昇任

○は昇任

氏 名	役 職 名	新 課 名	旧 課 名
新里 隆 博	課 長	教 育 課	企 画 課
河上 正 秀	課 長	建 設 課	金武地区消防衛生組合
比嘉 昭 彦	課 長	企 画 課	建 設 課
北 城 暁	議会事務局長	議会事務局	教 育 課
平 田 義 史	課 長	健康福祉課	健康福祉課
○野辺あやの	参 事	健康福祉課	健康福祉課
○仲間 盛 雄	課 長	上下水道課	村民生活課
○仲間 貢	課 長	村民生活課	教 育 課
○山内 慶 一	参事兼農業委員会事務局	産業振興課	村民生活課
伊 芸 宏 夫	課 長 補 佐	村民生活課	観光商工課
○島 袋 美 和	課 長 補 佐	村民生活課	教 育 課
○津嘉山由香	課 長 補 佐	教 育 課	総 務 課
○田 里 一 寿	主 幹	教 育 課	教 育 課
○赤 嶺 綾 乃	係 長	会計管理室	会計管理室
○瀬名波 梢	係 長	教 育 課	村民生活課
○金 武 志 門	主 査	健康福祉課	介護保険広域連合
○石田亜理沙	主 査	総 務 課	総 務 課
○城間みき子	主 査	産業振興課	産業振興課
石 川 耕	主 任	教 育 課	健康福祉課
新里ゆう子	主 任	建 設 課	村民生活課
仲 程 江 梨 子	主 任	健康福祉課	教 育 課
山 川 和 朗	主 任	村民生活課	教 育 課
山 城 優 太	主 任	産業振興課	健康福祉課
佐久川 尚	主 任	教 育 課	北 部 広 域
安 里 大 輔	主 任	総 務 課	産業振興課
島田真梨絵	主 任	村民生活課	建 設 課
新里 俊 文	主 事	観光商工課	企 画 課
仲 吉 武 玄	主 事	企 画 課	村民生活課
金武地区消防衛生組合派遣職員			
石 山 学	参 事	消防衛生組合	上下水道課
北部広域市町村圏事務組合派遣職員			
○仲 間 輔	主 査	北 部 広 域	教 育 課
沖縄県介護保険広域連合派遣職員			
幸 喜 光 徳	主 事	介護保険広域	村民生活課
新 採 用 職 員			
新 里 謙	主 事	村民生活課	
金 城 恵	主 事	教 育 課	
佐 竹 大 河	主 事	産業振興課	
嘉手納良寿	主 事	健康福祉課	
漢 那 憲 李	主 事	企 画 課	
照 屋 彩 子	保 健 師	健康福祉課	
仲 吉 ひ な こ	保 健 師	健康福祉課	
山 田 あ か り	幼稚園教諭	教 育 課	

新採用職員紹介



新里 謙 (惣慶区)
村民生活課

初心を忘れず、自己研鑽に努め、
宜野座村の発展に貢献できる
よう精一杯頑張ります。



金城 恵 (宜野座区)
教育課

柔軟な考えを持ち、村民が笑顔
になれる村づくりに貢献でき
るように頑張ります。



仲吉 ひなこ (漢那区)
健康福祉課

人との繋がりを大切にし、村民
の健康増進のために精一杯頑
張ります。



照屋 彩子 (松田区)
健康福祉課

地域活動に参加し、信頼される
保健師を目指します。皆様の健
康のために、精一杯頑張ります。



嘉手納 良寿 (宜野座区)
健康福祉課

職員としての自覚を持ち、村の
発展の為に尽力していきな
いです。



漢那 憲李 (福山区)
企画課

宜野座村の発展と住みやすい
村づくりの為に、日々努力し
ていきます。



佐竹 大河 (漢那区)
産業振興課

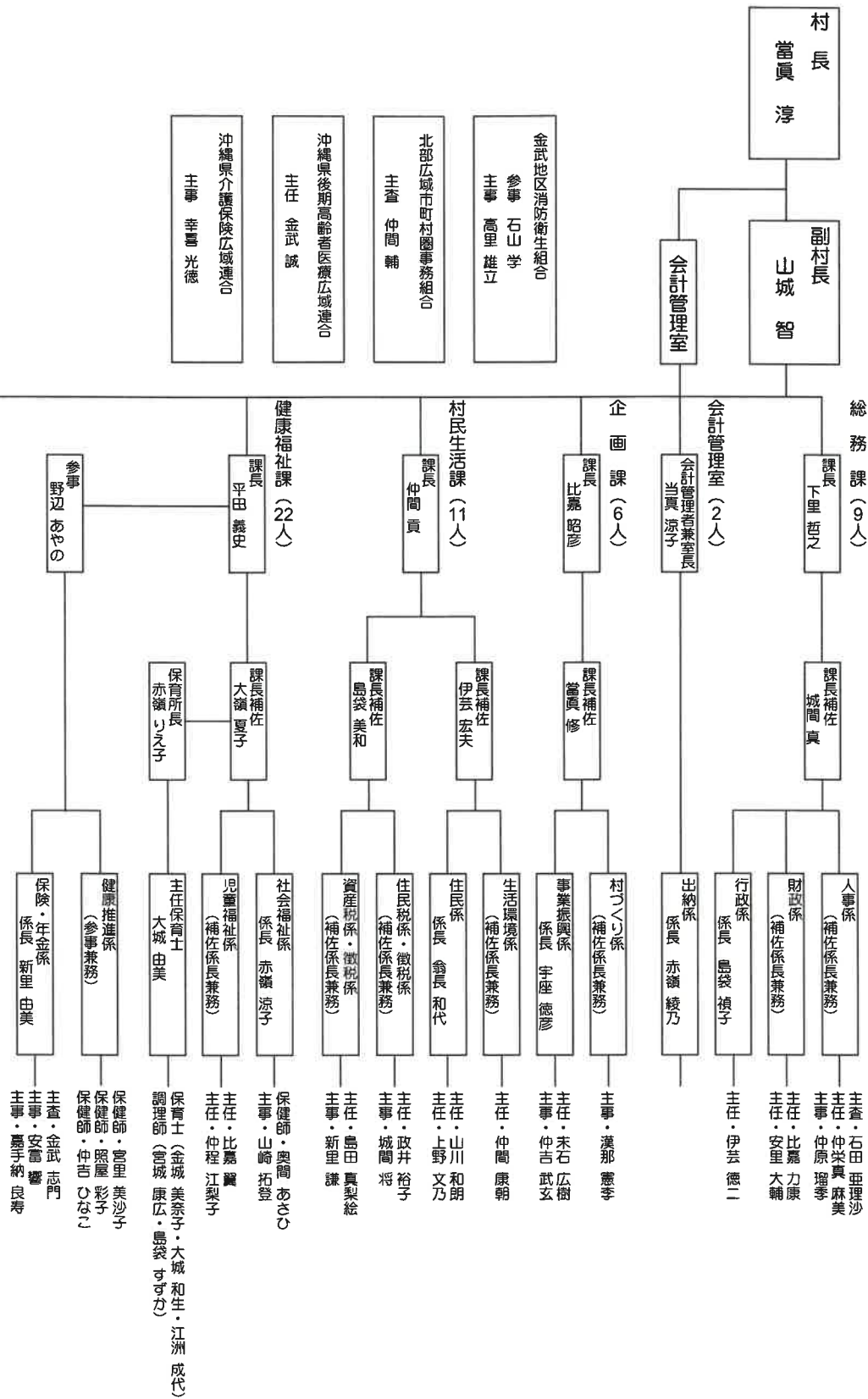
常に向上心を持ち、村の発展の
為に精一杯頑張りますので、宜
しくをお願いします。



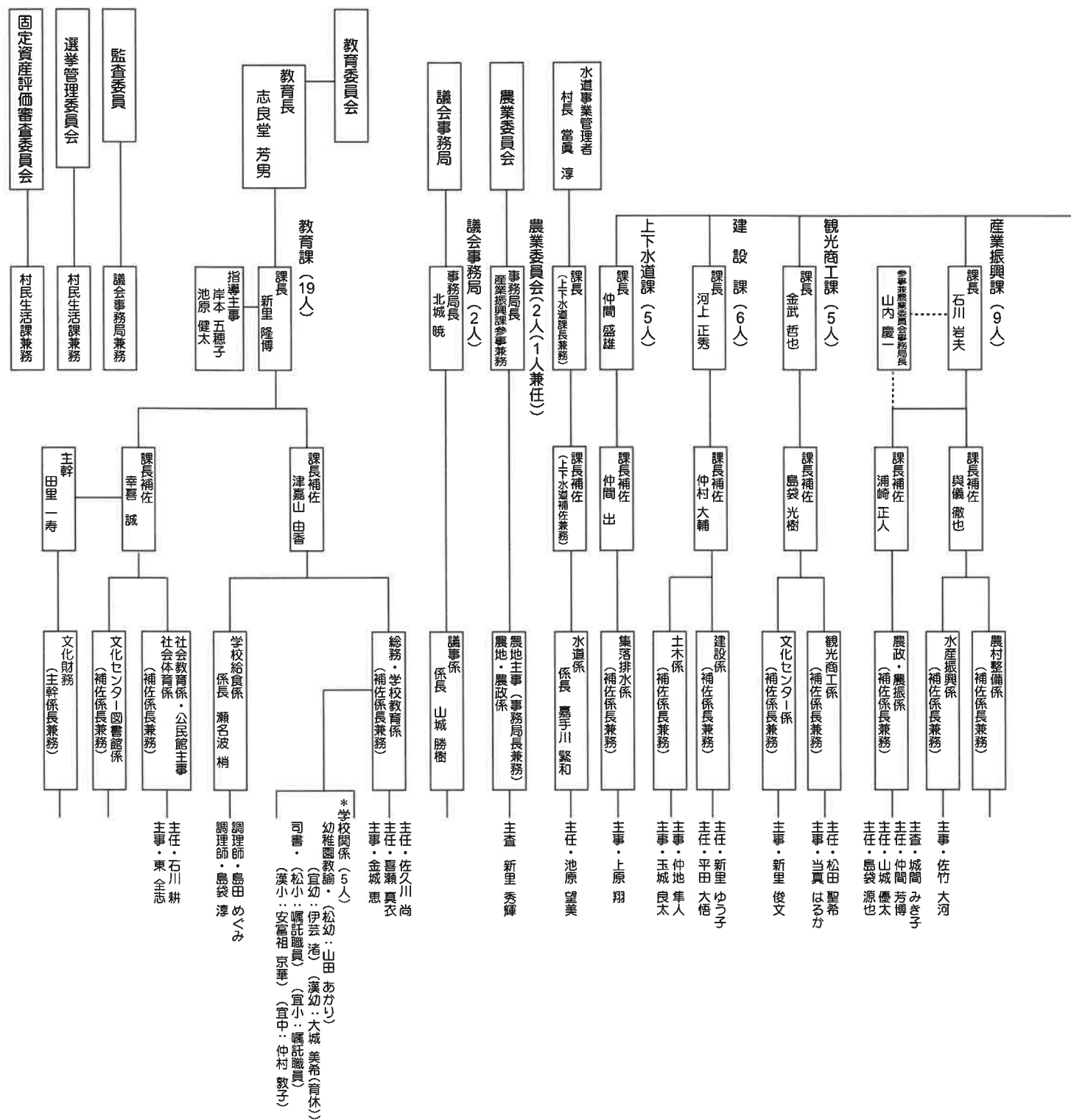
山田 あかり (宜野座区)
松田幼稚園

常に初心を忘れず、笑顔いっば
いの持ち前の明るさで頑張
ります。

平成31年度 宜野座村行政組織



(平成31年4月1日現在)



海外宜野座村人会との新たな繋がりを築く

第13次世界のギノザンチュ交流事業報告会

3月18日、村文化センターがらまんホールにおいて、世界のギノザンチュ交流事業報告会が行われました。

平成30年度の研修生は、幸喜光徳さん（惣慶区）と仲地夕南さん（松田区）の二人で、平成30年12月29日から平成31年2月1日の約1カ月間、南米三カ国（アルゼンチン、ペルー、ブラジル）及び米国ハワイ州で現地の宜野座村人会との交流と視察を行いました。

報告会では、写真を交えながら研修の様子や現地で学んだことを報告しました。二人は眞淳村長から青年国際交流員として委嘱状が交付され、これから四カ国と村の新たな繋がりを築くために活動していきます。研修を終えた二人の感想を紹介します。

仲地 夕南さん（松田区）



世界のギノザンチュ交流事業を通して、多くのことを学びました。各国の学校現場、独特の文化、そしてこの研修をきっかけに私の家族の歴史も知りました。村人会のみなさんはとても温かく私たちをおもてなししてくださり、安心して研修に臨むことができました。

この一か月で出会った人たちから他文化を認め合う心や故郷を思う心などに触れたことで、私自身の視野が広がったと強く実感しています。私の今後の社会生活や世界中で暮らすギノザンチュとの絆がこれからも繋がっていきけるよう、頑張っていきたいです。

幸喜 光徳さん（惣慶区）



本事業では各国の移民の歴史や日系人の文化等、多くのことを学びました。ブラジル連邦共和国では、私の親戚の方にもお会いすることができ、各国村人会のみなさんにはとても良くしていただいて、交流を深めることができました。

研修中は各国村人会の方々、現地の文化を尊重しながらも、沖縄の文化や沖縄との繋がりを大切にする心に触れることができました。今後は研修で学んだことや交流を活かして、世界のギノザンチュとの絆をさらに深めていけるように、頑張っていきたいと思います。



飲酒運転根絶協働行動締結式

～飲酒運転をしない させない 許さない～

3月5日、飲酒運転根絶協働行動締結式が石川署で開催され、石川署管内の4市町村（宜野座村・うるま市石川・金武町・恩納村）青年団協議会との間で覚書の締結が行われました。

この覚書は、飲酒運転根絶に向けた協力体制を確立し、協働行動により「飲酒運転をしない させない 許さない」安全で安心な社会を実現することを目的としています。

末石広樹村青協会長は、「飲酒運転や二日酔い運転の根絶を青年団協議会会員に周知し、しっかりと取り組んでいきたい。」と話しました。



覚書を持つ末石村青協会長（中央）

平成30年度 石川警察署長感謝状贈呈式

2月22日、平成30年度石川警察署長感謝状贈呈式が石川警察署で開催され、個人の部では伊芸八重さん（松田区）、団体の部では北陽生コンクリート株式会社と宜野座高等学校が表彰されました。

この贈呈式は、児童に対する交通安全指導や地域の安心安全のため交通安全活動に積極的に参加し、交通事故防止に貢献された方や団体に贈られる感謝状です。（写真：左から宜野座高等学校の玉城智枝美校長、伊芸八重さん、北陽生コンクリート株式会社の山田健社長）



感謝状を持つ受賞者

第25回 かりゆし遊び

～ゆかる日 まさる日 さんしんの日～

三線の日にあたる3月4日、第25回かりゆし遊び（主催・かりゆし遊び実行委員会）が、村文化センターがらまんホールで開催され、村内外から多くの観客が訪れました。

舞台では、村古典音楽愛好会による「かぎやで風」で幕開けを行い、民謡愛好会や琉舞愛好会による演舞が披露されました。

出演者は日頃の練習の成果を発揮し、息の合った華やかな演舞に惜しめない拍手が送られました。



幕開けのかぎやで風

地域住民への普及啓発のための講演会

～広域連合区在宅医療・介護連携推進事業～

3月7日、地域住民への普及啓発のための講演会（主催：一般社団法人中部地区医師会）が、宜野座区公民館で開かれました。

基調講演では、沖縄県立中部病院で医師を務める高山義浩氏が「最後まで“自分らしく”暮らすために～医療にできること、あなたが備えること～」について講話しました。

また、ミニ講演では医療介護の専門家による「地域の中の専門職の役割」についての講話や、かな病院の取り組み、地域包括支援センターの役割などを紹介しました。



医療介護の専門家によるミニ講演会の様子



漢那ビクトリー活躍キラリ

～小学生女子バレー国頭郡代表に3名選抜～

2月28日、漢那ビクトリーが村役場を訪れ、2月23日・24日の2日間、村総合体育館で開催されたJ A共催第2回ジュニアバレーボールフェスタ選抜大会に国頭郡代表として同チームから3名の選手が選抜されたことや、生まれつきダウン症を持ちながらも約1年間バレーを続けてきた津波古樹亜さんの活躍を報告しました。主将を務めた翁長ひなのさんは「他チームのレベルの高さを知ることができた良い経験になった」と話しました。今回選抜されたメンバーは次の3名です。（敬称略）翁長ひなの、金武真那佳、山内星風



左2番目から津波古さん、山内さん、翁長さん、金武さん

宜小5・6年生フルマラソン挑戦

～卒業生から後輩へバトンタッチ42.195km完走～

3月8日、宜野座小学校の5・6年生（82名）が協力してフルマラソン世界記録に挑戦しました。

この取り組みは、卒業生が5年生へバトンを繋ぐことで、学校のリーダーとしての自覚を持たせることを目的に行われ、1組合同チームは2時間28分、2組合同チームは2時間26分でゴールしました。

一人あたり100Mのコースを約10周回の割り当てで走り、児童たちの最後まで諦めない姿勢に保護者から温かい声援が送られました。



一丸となってバトンを繋ぐ5・6年生

宜野座中学校卒業式

～永遠の友情を誓う～

3月9日、宜野座中学校において平成30年度卒業式が行われました。

今年度、宜野座中学校を卒業する男子31名、女子26名の計57名が、校長先生から一人ひとりに卒業証書が手渡されました。

また、中学校での3年間、無遅刻、無欠課、無早退、無欠席だったとして、金城樹さん、浦崎紗帆さんが表彰を受けました。卒業生による最後の合唱では、お世話になった先生方への感謝の言葉が告げられ、涙ぐむ生徒の姿も見られました。



卒業生みんなで仲良く記念撮影



漢那小学校多彩な賞受賞

～第41回沖縄青少年科学作品展～



2月9日と10日にかけてANA ARENA浦添（浦添市民体育館）で開催された第41回沖縄青少年科学作品（主催：沖縄電力）において、漢那小サイエンスクラブが環境奨励賞、友利義明先生が優秀指導者賞を受賞しました。

第36回沖縄花のカーニバル2019花メッセージコンクールでは、栽培委員が沖縄タイムス社賞を受賞しました。

また、少年野球チームの漢那イーグルスも植樹ボランティアが評価され、県退職校長会より善行賞を受賞しました。



受賞を喜ぶ漢那小学校の児童たち

トヨタ自動車野球部による野球教室

社会人野球の強豪から学ぶ！

3月1日から12日までの日程で、愛知県豊田市に本拠地を置く社会人野球の強豪トヨタ自動車硬式野球部が、本村でキャンプを実施しました。

10日には、少年野球教室がかりゆしホテルズボールパーク宜野座DOMEで行われ、村内少年野



球チームが参加し、社会人のレベルの高い技術を学びました。



トヨタ野球部と記念撮影する少年野球チーム

松田幼稚園 いのちの授業

～ベットを例に命の大切さ園児へ伝える～

2月19日、松田幼稚園はうるま市で活動するチームエー代表者の渡久地政貴氏を講師に招き、いのちの授業を開きました。

渡久地氏はヤナエモンというキャラクターで園児の前へ登場し「本当に飼えるかな？」と題して、子どものときから知ってほしいペットを飼育するときの最小限のルール、マナーなどを園児たちに問いかけながら、「いのちの尊さ」を講話しました。園児たちはヤナエモンと「動物を叩いたり言葉で人を傷つけないこと」を約束し、授業を締めくくりました。



いのちを大切にすることを約束した園児たち

平成30年度タラソウェルネススクール

～健康増進優良成績者を表彰～

3月20日、かりゆしカンナタラソラグーナが平成30年度に実施したウェルネススクールの表彰式を開き、図師里佳支配人から受講者へ修了証が手渡されました。

その中でも体脂肪率の減少や筋肉量の増加、体力テスト全ての項目が好転となった方にはMVP賞が贈られました。見事MVPに輝いた惣慶区の新里艶子さんはスクールを振り返り「週3回タラソに通っている。水中運動と筋トレなどを組み合わせることで、前から悩んでいた腰痛もなくなったし、体も軽くなったように感じる」と笑顔で話しました。



受講者で仲良く記念撮影

タラソジュニア紅じゃがいも掘り体験

～子どもたちの笑顔あふれる賑やかな収穫祭～

3月14日、村内の子どもたちへの食育することを目的に、民生委員の山川昌成さん（松田区）らが共同で管理している松田区湯原の紅じゃがいも畑へタラソに通う幼稚園生から4年生までの19名を招き、いも掘り体験を開催しました。

子どもたちは紅色に染まったじゃがいもを夢中になって掘り起し、袋いっぱいになるまで詰め込みました。

山川さんは「自分たちの手で収穫したじゃがいもを食べて栄養をつけてほしい。来年は松田幼稚園にも呼びかけたい」と声を弾ませました。



紅じゃがを手にとって喜ぶタラソジュニアたち

村退職者辞令交付式

3月29日、村退職者辞令交付式が村役場ロビーで行われました。退職者及び転任者は次のとおりです。
※敬称略（勤続年数など）

議世事務局長

金城 勉（34年6月）

健康福祉課長

幸喜 均（32年11月）

村民生活課長

宮里 久美（32年8月）

農業委員会事務局長

當眞 嗣富（33年11月）

産業振興課主任

大城 明広（11年）

教育課教育指導主事

豊里 寿（大宮小学校へ転任）



永い間お疲れ様でした

特定防衛施設周辺整備調整交付金事業を活用し 社会体育施設備品購入



軽リフトダンプ 2台

村では、平成30年度特定防衛施設周辺整備調整交付金事業を活用し、体育施設の管理を行う社会体育施設備品を購入しました。

備品：軽リフトダンプ

台数：2台

平成30年度村美化コンクール

3月22日、花の村づくり推進事業の平成30年度村美化コンクールが開催され、個人・学校・事業所・区事務所・団体部門において、審査が行われた結果、次の個人及び団体が入賞となりました。（敬称略）

【個人部門】

最優秀賞 當眞嗣也（松田区）

優秀賞 玉元紹英（城原区）

【学校部門】

最優秀賞 漢那小学校

優秀賞 松田小学校

【事業所部門】

優秀賞 松田地区体験交流センター

【区事務所部門】

最優秀賞 松田区事務所

【団体部門】

最優秀賞 松田区婦人会

【特別賞】山城次雄（宜野座区）



審査の様子

當眞村長

3月の 主な動向

1日・トヨタ自動車硬式野球部キャ

ンプイン歓迎セレモニー、宜

野座高校卒業式、行政連絡会

議、金武地区消防定例議会

3日・北部市町村会沖縄自動車道に

関する要請行動（東京）～4日

5日・3月定例議会（特別委員会3

月11日～3月15日）～19日

9日・宜野座中学校卒業式、北部市

町村会理事会、北部広域市町

村圏事務組合理事会、名護市

県立高等学校北部合同寄宿舎

運営協議会総会、北部市町村

会総会、名桜大学理事長退任

激励会（北部市町村会）

11日・漁民漁村活性化施設運営協議

会委嘱状交付式

15日・崎山酒造工場視察

18日・世界のギノザンチュ交流事業

報告会

20日・村内三小学校卒業式、名桜大

学卒業式

25日・企業誘致行動（東京）～26日

27日・村基地対策協議会、村土地改

良区組合総代会

28日・沖縄県地域振興協会臨時総会

29日・退職者辞令交付式及び激励会

平成31年度巡回行政相談開催のお知らせ

「行政相談制度」は、役所の仕事（行政）に対する苦情や要望等をお受けして、その解決を促進するとともに、皆さんの声を行政に役立てるものです。国の役所の仕事や独立行政法人・特殊法人の仕事のほか、県や市町村が国から委託されたり、国の補助を受けて行っている仕事についてご相談下さい。



行政相談委員（総務大臣委嘱）

浜比嘉 永子さん

（巡回行政相談開所日及び場所）

- ◎ 5月24日（金）松田区公民館
- ◎ 7月26日（金）宜野座区公民館
- ◎ 9月27日（金）惣慶区公民館
- ◎ 11月22日（金）福山区公民館
- ◎ 1月24日（金）漢那区公民館
- ◎ 3月27日（金）城原区公民館

※開所時間帯：午前9時30分から午前11時30分まで

※行政相談は無料、秘密厳守です。

※居住地区に関係なく、どちらの会場でも相談が受けられますので、お気軽にご相談ください。

【お問い合わせ先】

● 村役場総務課 ☎ 098-968-5111 ● 沖縄行政評価事務所 ☎ 098-867-1100

平成31年度 自衛官等募集案内

■ 採用種目

一般曹候補生

■ 受付期間

- ① 2019年3月1日（金）～5月15日（水）
- ② 2019年7月1日（月）～9月6日（金）

■ 試験日

- ① 1次試験 2019年 5月25日（土）
2次試験 2019年 6月26日（火）～ 7月1日（月）
- ② 1次試験 2019年 9月20日（土）～ 9月22日（日）
2次試験 2019年10月11日（金）～10月16日（水）

■ 試験会場

- ①② 自衛隊沖縄地方協力本部（那覇）

■ 受験資格

- ①② 18歳以上27歳未満の者

【お問い合わせ】

沖縄地方協力本部名護地域事務所（0980-52-4064）

住所：名護市宮里452-3 名護地方合同庁舎 4F

健康福祉課からのお知らせ

◆ 20歳になったら国民年金

国民年金は、高齢になった時やいざという時に生活を現役世代みんなで支えようという考えで作られた仕組みです。20歳になったら忘れずにお近くの年金事務所又は村役場健康福祉課窓口で加入手続きを行ってください。

◆ 平成31年度国民年金保険料学生納付特例制度

学生の方で国民年金保険料の納付が厳しい方は、「学生納付特例制度」があります。本人の前年所得が計算式（{扶養親族等の数×38万円}+118万円）で計算した金額以下である場合は、在学期間中の保険料が猶予されます。

【手続き方法】

○ 在学期間が記載されている学生証の写し又は
在学証明書の原本・印鑑をお持ちください。

○ 申請期間：平成31年4月～翌年3月

※ 保険料は未納のままにせず、窓口でご相談ください。

【お問い合わせ先】

村役場健康福祉課（国民年金係） ☎ 098-968-3253

スタッフ 急募！

募集人数：2名

仕事内容：自動車整備、車両運搬

給 与：時給800円～1,200円

勤務時間：8：00～17：00

休 日：週休2日程度（シフト制）

保 險：雇用、労災

条 件：運転免許（MT車）

※ 経験者歓迎、未経験者可

応募方法：履歴書を持参し面談

車 検

24Hレッカー 故障、事故等

代車無料 保険修理OK！
沖縄陸運事務所認証第1763号

琉球自工

☎ 098-989-6464

（携帯）080-2717-6111

場所：宜野座村松田2440



バス通学定期券が半額に！

沖縄県ひとり親家庭高校生等通学サポート実証事業のご案内

2019年度は4月から割引販売スタート！

対象者 ▶ 児童扶養手当又は母子及び父子家庭等医療費助成受給世帯の高校生
(※生活保護法による通学費受給者は対象外です)

割引内容 ▶ バス通学定期券の半額（県が発行する割引カードをバス会社販売窓口に表示すると、割引価格で購入できます）
※普通運賃やチャージ利用は半額になりません。

申請期間 ▶ 平成31年4月1日～平成32(2020年)1月31日まで

割引期間 ▶ 認定を受けた日から平成32(2020年)3月1日まで

ご利用条件 ▶ 事業効果検証のためのアンケートのご提出

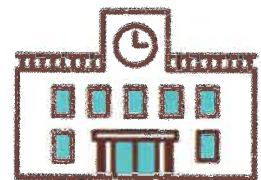
必要書類 ▶ ①所定の申請書
②高校生の母子及び父子家庭等医療費助成受給者証（コピー）
③学生証（コピー）または在学証明書
④アンケート
※申請書類は沖縄県青少年・子ども家庭課ホームページよりダウンロード可能
※申請から割引カードを発行するまで、約1ヶ月かかります。
申請はお早めに！



まずはお気軽に
お問合せください

※さかのぼって割引を受けることはできません。申請はお早めに！

申請先 ▶ (公社) 沖縄県母子寡婦福祉連合会 ☎ 098-887-4099
お問合せ ▶ 沖縄県母子寡婦福祉連合会 ☎ 098-887-4099
沖縄県担当 ▶ 沖縄県子ども生活福祉部 青少年・子ども家庭課 ☎ 098-866-2174



危険物取扱者試験

- ★ 試験 日：2019年6月23日(日)
- ★ 試験 種類：甲種、乙種（第1類～第6類）、丙種
- ★ 願書受付期間：2019年5月10日(金)～5月17日(金)
- ★ 試験 会場：北部農林高校、琉球大学、南部農林高校
宮古工業高校、八重山農林高校
- ★ 願書配布先：各消防本部予防課、沖縄県宮古事務所総務課、
沖縄県八重山事務所総務課、消防試験研究センター

※ 電子申請できます。ホームページをご覧ください!!
ホームページ：<http://www.shoubo-shiken.or.jp>

【願書提出先・お問い合わせ先】

(一財) 消防試験研究センター沖縄県支部
〒900-0029 那覇市旭町116-37 自治会館6階
☎ 098-941-5201



ぎのざ 暦

4月12日～5月13日

「毎月第3日曜日は家庭の日」

4/12 金	つちのと う 仏滅 旧3月8日	惣慶区教育隣組定例日	28 日	きのと ひつじ 友引 旧3月24日	腰憩い(松田区・宜野座区) 腰休み(惣慶区・福山区・城原区) 漢那区常会
13 土	かのえ たつ 大安 旧3月9日		29 月	ひのえ さる 先負 旧3月25日	昭和の日 第13回村民健康ゴルフ交流大会
14 日	かのと み 赤口 旧3月10日	松田区清明祭 宜野座区清明祭 惣慶区清明祭 漢那区清明祭	30 火	ひのと とり 仏滅 旧3月26日	
15 月	みずのえ うま 先勝 旧3月11日	農地パトロール	5/1 水	つちのえ いぬ 大安 旧3月27日	
16 火	みずのと ひつじ 友引 旧3月12日		2 木	つちのと ゐ 赤口 旧3月28日	
17 水	きのえ さる 先負 旧3月13日	宜野座ウォーク 漢那区教育隣組定例日	3 金	かのえ ね 先勝 旧3月29日	憲法記念日 ぎのざマルシェ
18 木	きのと とり 仏滅 旧3月14日	1.6歳・3歳児健診	4 土	かのと うし 友引 旧3月30日	みどりの日 ぎのざマルシェ
19 金	ひのえ いぬ 大安 旧3月15日		5 日	みずのえ とら 仏滅 旧4月1日	こどもの日 ぎのざマルシェ
20 土	ひのと ゐ 赤口 旧3月16日	乳児健診 城原区定期戸主会	6 月	みずのと う 大安 旧4月2日	振替休日 宜野座区定例教育隣組
21 日	つちのえ ね 先勝 旧3月17日	漢那区腰憩い	7 火	きのえ たつ 赤口 旧4月3日	城・笑福会(城原区)
22 月	つちのと うし 友引 旧3月18日		8 水	きのと み 先勝 旧4月4日	漢那区民イキイキウォーク
23 火	かのえ とら 先負 旧3月19日	福山区戸主会	9 木	ひのえ うま 友引 旧4月5日	ミニデイ惣寿会(惣慶区) 福山区民健康ウォーク よりあげの会(漢那区)
24 水	かのと う 仏滅 旧3月20日		10 金	ひのと ひつじ 先負 旧4月6日	
25 木	みずのえ たつ 大安 旧3月21日	農業委員会定期総会 ミニデイ惣寿会(惣慶区)	11 土	つちのえ さる 仏滅 旧4月7日	子ども読書フェスティバル(文化センター図書館)
26 金	みずのと み 赤口 旧3月22日	宜野座区定期戸主会	12 日	つちのと とり 大安 旧4月8日	惣慶区教育隣組定例日
27 土	きのえ うま 先勝 旧3月23日	お話会(文化センター図書館)	13 月	かのえ いぬ 赤口 旧4月9日	

(※主催者側の都合等で変更になる場合があります。お出かけの前に確認しましょう。)

**広報ぎのざは
ホームページで
閲覧できます。**

宜野座村ホームページ
<http://www.vill.ginoza.okinawa.jp>

(新里俊文)

人事異動に伴い、4月より観光商工課へ配属となりました。広報誌作成に携わるのも4月号で最後となります。

取材の際には、多くの方々に大変お世話になり、私自身も村の取り組みなどについて幅広く知ることができ、とても嬉しく思います。この場をお借りして御礼申し上げます。

平成の最後の広報ぎのざに、平成元年生まれの私が関われたことに縁を感じたと同時に、次の部署でもこれまでに培ってきたものを活かして頑張りたいと思います。

後任は新採用職員の新里俊文(福山区出身)となりますが、引き続き広報ぎのざをご愛読くださいますよう、よろしくお願ひします。

編集後記

沖縄コーヒーフェスティバル 2019 {eat. TAIWAN

3月9日・10日の2日間、沖縄コーヒーフェスティバル2019が農村公園で行われ、台湾から10店舗、県内から21店舗のコーヒーショップと23店舗のフードショップが出店しました。両日ともあいにくの空模様でしたが、午前中からイベント終了時まで長蛇の列が続き、挽きたてのコーヒーを求める約5,000人が会場に詰めかけました。

また、同イベントでは、コーヒーだけでなく陶器などの販売、コーヒー講座やワークショップ、地域ミュージシャンのステージなどが催され、来場者を楽しませました。



同窓生久しぶりの再会楽しむ！ 宜中同窓生野球大会

4月7日、第40回宜野座中学校同窓生野球大会が開催され、盛り上がりを見せました。



選手宣誓をした50期生



一般の部 優勝チーム62期生



50～60代の部 優勝チーム36期生



40代の部 優勝チーム47期生